

Kメンバー意見照会回答

(平成 27 年度 第 7 回 平成 27 年 10 月 7 日実施)

1. 前回の質問でのご意見（学校を使うことの是非等）を踏まえ、圏域 No. 12 と 13 は学校施設を拠点と考えており、施設改修等により複合化し、学校部分とコミュニティ担当部分の管理を分けて位置づける検討をしております。これについてのご意見がございましたらお聞かせください。また、学校教育以外に活用すること自体についてどう思われますか。	
B	1. 施設の複合化について賛成です。お考えのように学校部分と、コミュニティ担当部分の管理を分けた位置づけも同様に賛成です。 ◆学校教育以外の活用という事ですが、学校教育も地域の活動に寄与されています。体育活動、青少年指導活動や福祉活動等、地区市民協議会が中心となり学校は地区の交流、情報の共有等安全、安心の街づくりの活動においても協力している。地区市民協議会等のコミュニティ拠点やミニ市民センター、会議スペース等運用については検討すべきでしょうが、12、13 の圏域では有効活用できると判断されると思います。
D	学校を拠点として、学校とコミュニティ施設の複合化について 既存施設の有効活用としては、とても良い検討案だと思います。ただし、コミュニティ施設は、不特定多数の市民が利用される施設であるため、出入りがオープンなので、学校教育環境と相入れない側面があり、防犯面や騒音等、ともすれば、教育環境面に悪影響が生じることも想定されます。 このような面に十分配慮して、ハード面での独立性や安全性を確保することが課題になると思います。そのためには、それぞれの管理者等の緊密な連携が、大変重要になると考えます。
G	学校教育以外に利用することは 好ましく思わないです。施設利用の面からは有効かと判断しますが、こと子供の就学環境としてはいかがなものでしょうか。特定の世代が集まるような施設でなければよろしいのでしょうか。
H	複合化は賛成です。人口の少ない地域においては、学校教育環境を維持しながら、その他の活動も同じ場所で管理することは地域のまとまりも良くなり、生活面の安全にもつながると考えます。
J	学校部分とコミュニティ担当部門の両方での活用は必要だと思います。コミュニティとして学校を使用することは、活用される方にとっても安心できる場で使用しやすいと思います。学校教育以外での活用は、企業の利益追求のような使用目的でなければ良いと思います。

2. 現在検討しております 15 圏域の No. 15 の圏域では、福祉総合センターに移転するサン・アビリティーズの建物を有効活用し、老朽化した女性センターと大宮青少年会館の移転集約を検討しています。男女共同参画の拠点施設と青少年の健全育成のための施設とそれぞれ対象が異なりますが、複合することにより想定されるメリットとデメリット、またその解決策がありましたらご回答をお願いします。	
B	どちらも中心となって施設を使用するのは大人（担当役員）です。活動は大人の男女が活動をリードしています。こだわることは活動の内容等の理解がされていないのではないかと、青少年会館や地域のコミュニティ活動の拠点は、各種団体が調整しながら会場を使用しています。「メリットとデメリット」と思案するより協調と調和を図る運用をめざす考え方を提案いたします。
D	男女共同参画の拠点施設と青少年健全育成施設の同居について ・メリットとしては、各々の活動目的は異なりますが、共通することもたくさんあると考えられます。また、活動されている対象者に重なりがあることも考えられ、複合化することにより、相互の交流も進み、活動内容に広がりも出て、むしろ、コラボで活動する機会もできる可能性もあり、ハード面では少し手狭になることはあると思いますが、良い活動拠点の機能を果たせると 생각합니다。 ・デメリットは、特に思いつきません。
G	一応の役目を終えた施設は、リニューアルすべきです。効率性から考えると合同庁舎化が考えとして正しいと考えます。駐車スペース等新たな問題も発生してきますが、それも考慮した上で集中すべきだと考えます。
H	女性センターと大宮青少年会館の集約は賛成です。男女共同参画の拠点施設にこだわりがあるようですが、要は、男性側の受け入れの姿勢だと考えます。社会的に女性がかかり活躍されていますので良好な方向に向かっていると思います。施設名で女性という言葉を入れる必要もありません。公民館を始めコミュニティ施設に参画している人は殆ど女性です。男女共同参画の講座が必要であれば、適所に設けるぐらいで良いと考えます。
J	複合することによってのメリットは、無駄な経費削減、利用頻度が高まる、利用目的の幅が広がる、利用が増える等だと思います。デメリットとしては、移転のための移動手段が難しくなる方がでる、利用する際に部屋が押さえにくくなる等です。解決策は、バスなどで移動手段を簡単にできるようにする、利用したい方がわかりやすいように空き状況などがホームページなどで確認できるようにする。

※ 表中のアルファベットは、同一メンバーを表しています（平成26年度から引き続きメンバーになられている方は、26年度と同じアルファベットを用いています）。また、文書公開にあたり表記等一部変更している場合がありますが、回答の要旨は原文に基づいています。